

事業報告

全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」 地域探究アワード関東・甲信越ブロック地方ステージ

令和3年12月18日(土)～19日(日)

【対象】高校生

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

1. 趣旨

各自が行った実践活動について発表するプレゼンテーション活動を通して、思考力、判断力および表現力を養うとともに、他者の発表や自身の発表への講評を聞くことで、あらたな気づきや学びの機会とする。また、出場者が提出した報告書及びプレゼンテーションについて審査し、全国ステージに出場する代表者を選出する。

2. 主催

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

3. 活動日程

	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
12/18 (土)		参加者 受付	開 会 式	オリ エン テー ション	リ ハ ー サ ル 動 作 確 認	グループ発表・講評 5グループ		夕 食	参 加 者 交 流 会	入 浴	自 由 時 間
	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
12/19 (土)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	起 床	荷 物 整 理	朝 食	清 掃	リ ハ ー サ ル	グループ発表・講評 4名		昼 食	閉 会 式	解 散	
	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16

4. 参加者

高校生 20名 (個人部門4名、グループ部門5組(16名))

5. 参加者の声 (一部抜粋)

- ・自分たちが思っていること、感じたことを直接伝えることを意識し、自分の考えを伝えられる良い場だった。
- ・とても緊張したけれど、今までの経験の中で一番といって良いほど自分のためになった。
- ・聞き手の方々に、わかりやすく自分たちの意見を伝える工夫をした。実践活動や発表を通して積極性や臨機応変に対応する力が身についた。
- ・みんなの考えていることや実践していることがすごくて、感動しました。とても貴重な経験ができました。
- ・審査員(評価委員)の方に褒めていただけたのはとてもうれしかったし、自分の自信にもつながった。
- ・自分が夢中になって取り組んでいることが伝わって、とてもうれしかった。
- ・他者の発表を聞いて、もっと自分たちの課題を明確にし、掘り下げていくこと、企画についてもっと話し合うことが必要だと感じた。
- ・県外の高校生と交流する機会がないので、とても良い経験になりました。
- ・自分の知らない地名や課題を知れたことがすごく利益になった。自分にはない視点や観点で探究を見つめていて、自分の価値観や視野が広がった。
- ・もっと言いたいことがあったけど、結構削らなければならなかったなので、発表の時間をもっと長くしてほしかった。

6. 活動の様子

【グループ部門①】



【参加者交流会①】

【グループ部門②】



【参加者交流会②】

【質疑応答】



【個人部門①】



【個人部門②】



【評価委員の先生方の講評】



【参加者全員】



7. 成果と課題

(1) 事業アンケート結果（回収20名）

事業全体を通して	満足：19名	95%
	やや満足：1名	5%
	やや不満：0名	0%
	やや不満：0名	0%

(2) 成果と課題

- 広範囲から集まった参加者たちの発表を聞くことにより、参加者たちはお互いになかった視点や考えを新たに取り入れる良い機会となった。
- コロナウィルス感染症対策を徹底しながら参加者交流会を実施したことで、他県から集まった参加者たちの間で自然とコミュニケーションが生まれ、参加者間での交友関係が広がった。
- リハーサル時間や発表時間をゆとりある設定にしたことで、すべてのプログラムがスケジュール通りに進んだ。また、開会식을1日目の午後、閉会식을2日目の午後早い時間に設定したことにより遠方からの参加者の行き帰りの時間を十分に確保できた。
- 実践活動報告書提出締め切りから地方ステージ開催までの日程が短く、評価委員の書類審査が非常にタイトな日程になってしまった。次年度は開催日程自体を検討する必要がある。